

資料2

西 東 京 市
男女平等参画推進委員会
令和3年8月24日

西東京市第4次男女平等参画推進計画

西東京市第2次配偶者暴力対策基本計画

西東京市女性の職業生活における活躍推進計画

実績評価報告

(令和2年度)

(Aグループ)

西東京市男女平等参画推進委員会評価

基本目標Ⅰ	人権の尊重
課題Ⅰ-Ⅰ	男女の固定的性別役割分担意識の解消（★重点課題）
施策（１）	男女平等参画推進のための意識啓発と情報提供
事業	①情報誌パリティの発行と配布
	②情報の提供
	③パリティまつりの開催
担当課	協働コミュニティ課・秘書広報課・公民館・図書館

施策全体についての評価

コロナ禍の影響はジェンダー格差があり、男女の固定的性別役割分担意識の解消が急務となっている。 さまざまな媒体や機会を活用した男女平等意識や男女平等参画についてのさらなる情報提供の工夫を期待する。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	B	B			

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②③	コロナ禍の影響を考慮し、情報誌パリティで特集を組んだり、パリティまつりのテーマとして取り上げたことを評価する。 情報誌パリティの中学生全員への配布はよい取組みなので、中学生からの感想／意見を聞く機会や出前講座開催など、さらなる一歩を期待したい。 （次年度への課題が昨年度と同様なのが残念） また、パリティの配布先（数、どのような場所か）についても記載をお願いしたい。情報発信の媒体として、SNSの活用も期待する。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			A	A			
			課題把握				
B	B						
秘書広報課	②	担当課と調整を図り、男女平等意識に留意した情報発信を行っている点を評価する。 限られた市報のスペースかと思うが、男女平等参画に関するコラム（DVも含め）の検討を期待する。	総合評価				
			B	B			
			計画内容				
			A	B			
			執行状況				
			B	B			
課題把握							
B	B						
公民館	②	公民館は、市民にとって情報収集の場だと思うので、引き続き、男女平等意識や男女平等参画に関する事業の情報提供を期待する。	総合評価				
			A	B			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			A	B			
課題把握							
B	A						
図書館	②	男女共同参画週間に令和元年度のひばりが丘図書館につづき、柳沢図書館にて関連書籍の展示を行ったことを評価します。 パリティと連携して、男女共同参画週間、パリティまつりなどの機会を活用して、関連書籍の展示の継続を期待する。	総合評価				
			B	B			
			計画内容				
			B	B			
			執行状況				
			B	A			
課題把握							
C	B						

西東京市男女平等参画推進委員会評価

基本目標Ⅰ	人権の尊重
課題Ⅰ-Ⅰ	男女の固定的性別役割分担意識の解消（★重点課題）
施策（２）	男女平等に関する学習機会の提供
事業	①男女平等参画の視点にたった各種講座の開催 ②資料の収集と図書の貸し出し
担当課	協働コミュニティ課・子ども家庭支援センター・公民館・図書館

施策全体についての評価

コロナ禍で見えてきた現状について情報共有など、担当課間の連携を進めていただきたい。それぞれの担当課の強みをいかした 男女平等に関する学習機会の提供を期待する。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	B			

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②	今年度の「執行状況・事業評価」は、執行状況のみの記述で、昨年度の課題への対応も含め、事業評価の記述が不足している。 参加者人数に男女別の人数の記載がほしい。 また、次年度の課題が昨年と同じなのは残念。 受講者のアンケートから、受講者の自主活動につながるような支援についてのヒントを探るなど、計画が進捗する取組みを期待する。ライブラリーの貸出し冊数の増加理由についても記載もほしい。	総合評価				
			A	B			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			A	B			
子ども家庭支援センター	①	コロナ禍において、のどか広場、ピッコロ広場の男性参加者が大幅に増加したことは、父親のニーズに合ったのだと思う。父親のニーズを探る、アンケート調査の有無が気になる。 男女の固定的性別役割分担意識の解消に向けて、父親支援事業の充実に期待する。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	B			
			執行状況				
			A	A			
公民館	①	育児期の女性を対象とした保育付き講座の実施を評価する。講座の具体的な内容、参加人数の記載をお願いしたい。 コロナ禍で孤立しがちな育児期や高齢期の女性、男性向けの開催を期待する。 パリティとの情報共有、連携を期待する。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			B	B			
図書館	②	男女平等に関する資料の収集や図書の貸出、情報提供については、図書館に期待するところが大きい。 男女平等、男女共同参画、DVに関する書籍の書架に、相談場所を記したカード、デートDVに関するリーフレットなどの資料を配架している図書館を訪問したことがある。パリティとの連携を期待する。	総合評価				
			B	B			
			計画内容				
			B	B			
			執行状況				
			B	B			
課題把握							
C	B						

西東京市男女平等参画推進委員会評価

基本目標Ⅰ	人権の尊重
課題Ⅰ-Ⅰ	男女の固定的性別役割分担意識の解消（★重点課題）
施策（3）	メディア・リテラシーの普及・啓発の推進
事業	①情報誌パリティや講座等によるメディア・リテラシーの普及・啓発の推進
	②市発行物等の表現における男女平等ガイドラインの周知徹底
担当課	協働コミュニティ課・秘書広報課

施策全体についての評価

内閣府作成の「表現における男女平等ガイドライン」と、協働コミュニティ課作成の「事例集」が、主要な関係者の間では活用が進んでいることを評価する。今後の広がり期待したい。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	A			

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②	メディアリテラシーに関する蔵書の充実を図り、講座等の機会をとらえ、閲覧や貸し出し対応に努力されたこと、および「男女平等ガイドライン」と「事例集」の活用促進にも努力されたことを評価したい。今後は次のステップのための具体案を検討されたい。	総合評価				
			B	B			
			計画内容				
			B	A			
			執行状況				
			B	B			
秘書広報課	②	内閣府作成の「表現における男女平等ガイドライン」と、協働コミュニティ課作成の「事例集」を活用し、市報とホームページによる情報発信に注力されたことを評価したい。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			A	A			
課題把握							
A	A						

西東京市男女平等参画推進委員会評価

基本目標1	人権の尊重
課題1-2	家庭・学校・地域における男女平等教育と学習の推進
施策(1)	男女平等参画推進のための教育・学習の実施
事業	①男女平等の視点にたった名簿等の活用
	②固定的な性別役割にとられないキャリア教育の実施
	③学校等における男女平等教育の実施
	④保育園や児童館、図書館などにおいて、男女平等の視点をもった関係図書の紹介等
担当課	教育指導課・協働コミュニティ課・保育課・児童青少年課・図書館

施策全体についての評価

幼少時からの読書や教育を通して男女平等意識を育てていくことは非常に重要だが、「パリテライブラリーニュース」などが連携した活動の基盤づくりに役立っているようだ。今後も良質な情報発信に期待したい。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	A			

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
教育指導課	①②③	前年度に整備された男女混合名簿について、名簿作成の意図などを教員が人権教育の観点から理解するための研修が行われたことを評価したい。「性教育」は小学校は学級担任、中学校は専科の体育科教諭が担当と聞いているが、男女共に学ぶ場を作るには専門家の投入が必要ではないだろうか。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
課題把握							
A A							
協働コミュニティ課	③④	情報誌「パリテ」が全中学校に配布されたこと、また編集段階で中学生への配慮がなされたこと、関係図書の整備と情報発信「パリテライブラリーニュース」について大いに評価したい。今後は中学校での「パリテ」の活用などにも注力されたい。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
課題把握							
A A							
保育課	④	親子への図書の紹介や読み聞かせを通じて意識啓発に努められたことを評価する。今後も継続されたい。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
課題把握							
A A							
児童青少年課	④	児童館において、ライブラリーニュースを活用した図書の紹介等啓発活動が行なわれたことは評価したい。今後は、一歩踏み込んで内容紹介などにも力を入れてほしい。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
課題把握							
A A							
図書館	④	関係図書の紹介や、「夏休みすいせん図書」への選定を通して、関係図書が読まれる環境づくりに取り組まれていることを評価したい。今後も継続されたい。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
課題把握							
A A							

西東京市男女平等参画推進委員会評価

基本目標1	人権の尊重
課題1-2	家庭・学校・地域における男女平等教育と学習の推進
施策(2)	多様な性・多様な生き方を認める人権尊重の意識づくり
事業	①学校における人権教育の実施
	②多様な性や生き方に関する理解の促進
	③情報誌パリティの発行と配布(再掲)
	④国際交流等行事の実施
担当課	教育指導課・協働コミュニティ課・文化振興課

施策全体についての評価

様々な場面で人権の視点から男女や多様性の尊重に関して、教育や啓発活動が行われていることを評価する。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	A			

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
教育指導課	①	学習指導要領に沿った教科指導により「男女が共に社会を創造する能力を育むことができた」という担当課の事業評価では実施状況が見えてこない。より具体的な記述を期待したい。	総合評価				
			A	B			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			A	B			
課題把握							
A	A						
協働コミュニティ課	②③	市民啓発のため、適切で学びを深める講座の開催、および情報誌の拡大配布、配布対象への配慮など、事業の深化と広がりを中心に評価する。今後の発展継続を期待したい。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			A	A			
課題把握							
A	A						
文化振興課	④	人権尊重の視点からも、多様性を持つ外国人市民への支援及び、日本人住民の啓発活動により多文化共生の推進を図ることは重要であろう。多文化共生センターの運営及びサービスの周知に努められたことを評価する。今後のさらなる充実を期待したい。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			A	A			
課題把握							
A	A						

西東京市男女平等参画推進委員会評価

基本目標 1	人権の尊重
課題 1-2	家庭・学校・地域における男女平等教育と学習の推進
施策 (3)	保護者・保育士・教員・地域団体等の男女平等意識の啓発
事業	①男女平等の視点にたった子育て情報誌の作成・配布
	②保育士等職員を対象とした男女平等意識の啓発
	③男女平等教育を推進するための教員の研修の実施
	④民生委員・児童委員や地域の団体等への啓発
担当課	子育て支援課・保育課・児童青少年課・教育指導課・地域共生課・協働コミュニティ課

施策全体についての評価

各課男女平等意識の醸成の為に研修等を通じて職員の育成がなされている。引き続き研修実施とともに日頃から男女平等を含む人権を意識できる環境作りに期待する。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	B			

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
子育て支援課	①②	出産や子育ては夫婦共に未経験から始まる事が多く、どちらか一方に責任や負担が偏ってはならない。新しく父・母が誕生していく中で夫婦間の子育てに対する思いは少しずつ塗り替えられていく部分もあるが、やはり正しい情報・認識が確実に子育てをする夫婦に届けられる必要がある。子育てハンドブックの編集とともに、男性側が確実にハンドブックを手に取り目を通せるような工夫や仕組み作りを心掛けられたい。幼稚園補助金や研修参加への促しも引き続き継続されたい。	総合評価				
			B	B			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			B	B			
			課題把握				
B	B						
保育課	②	園児の呼称の統一など具現的に効果が見られ評価できる。次世代を担う子どもたちの未来が男女平等・男女共生に直結していくことを考えると保育士一人一人の園児への関わりは時代に見合った適切なものでなければならない。引き続き研修参加への促しや保育士の育成に力を注がれたい。	総合評価				
			B	B			
			計画内容				
			B	B			
			執行状況				
			B	B			
			課題把握				
B	B						
児童青少年課	②	体制を変えつつも研修を実施できていることを評価する。新人や旧人という経歴の差だけでなく、性別や育ってきた環境の異なる職員が児童に関わることへの影響力を軽んじることなく研修という場に加え定期的に児童への関わりを見直せるチェックシートを利用するなど日頃から差別や偏りが生じない指導を心掛けられたい。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			A	A			
			課題把握				
A	A						

教育指導課	③	人権教育プログラムは多岐にわたる人権について詳しく解りやすく解説や教育指針が記載されている。必要に応じて利用されるだけでなく全ての教職者が読み込み理解されている状態が望ましい。研修実施や指導とともにこの冊子の配布に留まらず熟読されるような体制作りに期待する。	総合評価			
			A	B		
			計画内容			
			B	B		
			執行状況			
			A	B		
課題把握						
B	B					
地域共生課	④	地域における担い手がより適切な情報や知識を持ち地域に貢献できるよう引き続き研修の機会の提供や人材の育成を推し進められたい。	総合評価			
			A	A		
			計画内容			
			A	A		
			執行状況			
			A	A		
課題把握						
A	A					
協働コミュニティ課	④	地域のリーダーが男女平等参画の必要性を理解し意識の醸成を図れるよう情報誌パリティの配布とともに内容にも改良を重ねられたい。	総合評価			
			A	B		
			計画内容			
			A	A		
			執行状況			
			A	B		
課題把握						
B	B					

西東京市男女平等参画推進委員会評価

基本目標Ⅰ	人権の尊重
課題Ⅰ-3	配偶者等からの暴力の防止と被害者支援（★重点課題）
施策（１）	暴力の未然防止と早期発見
事業	①講演会やパンフレット等による啓発
	②デートDV防止の啓発
	③早期発見に向けた市民、職務関係者との連携
担当課	協働コミュニティ課

施策全体についての評価

三つの事業において効果的な執行状況が窺える。引き続き課題の把握に努められ事業の遂行がなされることに期待する。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	A			

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②③	執行状況から暴力防止や被害者支援の為の働きかけがなされていることが伝わる。引き続き未成年者への教育や支援を要する人が素早く関係機関につながり被害者の方がヘルプを出しやすいパンフレットの作成や配布場所を検討されたい。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
A	A						
課題把握							
A	A						

西東京市男女平等参画推進委員会評価

基本目標1	人権の尊重
課題1-3	配偶者等からの暴力の防止と被害者支援（★重点課題）
施策（2）	相談窓口の充実
事業	①相談窓口の周知と情報の提供
	②女性相談の実施
	③一人ひとりの状況に応じた相談の実施
	④男性相談のあり方の検討
担当課	協働コミュニティ課・生活福祉課・子育て支援課・子ども家庭支援センター・健康課

施策全体についての評価

昨年度から続くコロナ禍、DV相談件数が増大している。日々の暮らしの中での女性相談（男女平等の視点での相談）はセーフティネットの視点からもその役割はより重要となり、よりきめ細やかな適切な相談体制を確保することは男女平等社会の実現の真価が問われることになる。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	A			

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②③④	相談をしたい人がどこに相談に行けばよいのかわからないという状況が見受けられる。そのためには市内での相談窓口の連携を強め、それぞれの相談の役割がみえる化する工夫が欲しい。また、多様な性に対応できる相談窓口の新設にも期待したい。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			A	A			
課題把握							
B	A						
生活福祉課	③	コロナ禍に対応し、相談体制を訪問から電話メール、所内面接に変更し、相談体制を積極的に継続したことは評価したい。また、家庭相談員が個々の状況を把握し、様々な視点から相談を受け、長期的な支援体制を作り上げていること評価したい。今後も継続していくことを期待したい。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			A	A			
課題把握							
B	B						
子育て支援課	③	ひとり親家庭に対して、個別のニーズにあわせ、より具体的な支援体制を推進していることは評価したい。特に経済的な支援のほか、自立支援にむけての就労相談事業は、幅広い相談体制を構築することうえでも今年度も期待したい。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			B	A			
			執行状況				
			A	A			
課題把握							
B	A						
子ども家庭支援センター	③	コロナ禍、潜在していたDV家庭が表面化した。未だに女性が家事・子育てに対して多大な負担を強いられている現状が見られる。男女がともに協力しあえる家庭環境を構築し、男女平等社会が実現出来るような相談対応になることを期待する。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			A	A			
課題把握							
B	B						
健康課	③	外国人に対する相談体制に窓口対応にタブレットの活用等を導入し、様々な相談ニーズに対して対応していることは評価したい。また、子どもの身体や心に対する支援にもきめ細かな対応を今後も市内における連携を深め、充実させて欲しい。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			A	A			
課題把握							
B	B						

西東京市男女平等参画推進委員会評価

基本目標1	人権の尊重
課題1-3	配偶者等からの暴力の防止と被害者支援（★重点課題）
施策（3）	被害者の安全の確保と自立への支援
事業	①緊急一時保護の実施
	②民間支援団体との連携
	③一人ひとりの状況に応じた関係部署間の連携による支援と情報の提供
	④被害者への自立支援の実施
担当課	協働コミュニティ課・健康課・生活福祉課・子育て支援課

施策全体についての評価

DV被害者支援で欠かせないこと、安全性の確保と切れ目のない支援体制。そのためには利用しやすい緊急一時保護体制と庁内の連携体制の下でのケースワークの実施は不可欠となる。この点、被害者のニーズにあわせてきめ細やかな支援体制の取り組みかうかがえ、今年度もより良い支援体制に取り組んでいくことを期待したい。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	A			

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②③④	昨年からのコロナ禍において、家族で一緒にいる時間が増えたことによる息苦しさをより感じているDV被害者も少なくない。そのため、より一人一人の状況に即したケースワークの必要性が問われる。庁内部署の連携体制、民間支援団体つながりを深めニーズに対応した被害者支援にあたることを期待する。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			A	A			
課題把握							
B	A						
健康課	③	DV被害者の多くは心のケアを必要としている場合が多い。特にコロナ禍においては、そのサポートが必要とされている。こころの相談をどこでももらえるのかしてわからない被害者の相談窓口として、関係各課と連携を図りながら、必要な情報を提供し、支援体制の間口を今年度も広げて欲しい。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			A	A			
課題把握							
A	B						
生活福祉課	③	コロナ禍において、顕著に表れていることの一つに子どもの貧困問題がある。子どもたちの学習の機会の確保等、シングルマザーの母子に対しての経済的支援の情報提供等が望まれる。子どもたちの進学意欲の向上、制度の説明、活用の推進を期待する。そのためにも家庭相談員の役割に期待したい。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			A	A			
課題把握							
A	A						
子育て支援課	③	コロナ禍、家庭において子どもが面前DV被害者になっているケースが見受けられるが子ども自らSOSを上げることは難しい。虐待の早期発見の要となる子育て支援課とDV相談窓口が更なる連携をはかり、子どもの被害者がなくなることを期待したい。またDV被害者親子がともに生きやすくなる視点での相談体制の充実を望む。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			A	A			
課題把握							
A	A						

西東京市男女平等参画推進委員会評価

基本目標Ⅰ	人権の尊重
課題Ⅰ-3	配偶者等からの暴力の防止と被害者支援（★重点課題）
施策（４）	市の体制整備に向けた取り組みの強化
事業	①職員研修の実施
	②相談員の資質向上とメンタルケア
担当課	協働コミュニティ課

施策全体についての評価

新型コロナウイルス感染症感染拡大の中で、配偶者暴力被害者支援担当者会議（書面開催）より、市職員への研修、情報提供を評価します。 DV被害者の様々な相談について庁内関係各課とのさらなる連携を図ることが大切なので、評価します。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	A			

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②	庁内相談窓口職員に対しての研修、情報提供について評価します。 相談員の資質向上のため、東京都主催のスーパーバイズ研修に積極的に参加していただきたい。 DV支援に必要な研修も今後庁内関係課、関係機関に連絡を密に取り、連携を進めていただきたい。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			A	A			
課題把握							
A	A						

西東京市男女平等参画推進委員会評価

基本目標Ⅰ	人権の尊重
課題Ⅰ-3	配偶者等からの暴力の防止と被害者支援（★重点課題）
施策（5）	関係機関との連携強化
事業	①庁内関係各課との連携の強化
	②各種関連機関・専門家との連携の強化
	③配偶者暴力相談支援センター機能の検討
担当課	協働コミュニティ課・関係各課

施策全体についての評価

新型コロナウイルス感染症拡大の中で、会議（書面開催）を2回実施し、連携を図られていることを評価します。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	A			

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②③	庁内関係機関との連携強化に努め情報収集、相談支援者等への相談等を実施したことを評価したい。	総合評価				
			B	B			
			計画内容				
			B	B			
			執行状況				
			B	B			
			課題把握				
B	B						
関係各課 (下記の各課)	②	各課ともに配偶者暴力被害者支援担当者連絡会議に参加され、連携を図られていることを評価します。子ども家庭支援センターにおいては、市内コンビニエンスストア、郵便局等を訪問してチラシの配布をしてもらい、気になる子供を見かけたら連絡してくれるようPRすることを、今後も継続して実施していただきたい。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			A	A			
			課題把握				
A	A						

(市民課・保険年金課・健康課・生活福祉課・高齢者支援課・障害福祉課・子育て支援課・保育課・子ども家庭支援センター・学務課)

西東京市男女平等参画推進委員会評価

基本目標Ⅰ	人権の尊重
課題Ⅰ-4	男女平等を阻む暴力の防止（セクシュアル・ハラスメント、ストーカー、性暴力等）
施策（1）	暴力の防止に向けた意識啓発
事業	①暴力防止に関する情報提供と学習機会の提供
	②市内事業所への意識啓発
	③暴力の防止に関する市職員・教員への啓発・研修
担当課	協働コミュニティ課・職員課・教育指導課

施策全体についての評価

暴力防止に向けた意識をより高めていくためには、無意識や勘違いの中で発生している暴力の存在に気付くことも非常に重要である。啓蒙活動は一朝一夕に効果を出せるものではないので、今後も工夫を重ね、地道に取り組んでいかれることを期待する。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	A			

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②③	コロナ禍で制約があった中でも、講座の開催や書籍の紹介、HPを使って情報提供を行ったことを評価する。冊子やパンフレット類は、今一度配布先や配布方法を見直して、男女問わずより多くの市民の目に止まるようにすることが重要と思われる。昨年に続き実施できなかった全職員への研修を、どのようにしたら実施できるか、具体的に検討していただきたい。	総合評価				
			B	B			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			B	B			
職員課	③	e-ラーニングシステムを用いる等の工夫で、全職員対象の研修を行っていることを評価する。受講者が、ハラスメント防止の重要性を理解したうえで研修に参加できるよう、日常の啓蒙活動にも工夫を期待する。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			A	A			
教育指導課	③	法定研修の実施により教職員の意識向上を図っていることは評価できる。教育現場は極めて限られた空間なので、一般社会人を講師に迎える等の工夫で、学校の常識と社会の常識との差異を客観的に認識できるような研修となることが望まれる。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			A	A			
課題把握							
			A	B			

西東京市男女平等参画推進委員会評価

基本目標Ⅰ	人権の尊重
課題Ⅰ-4	男女平等を阻む暴力の防止（セクシュアル・ハラスメント、ストーカー、性暴力等）
施策（2）	暴力の被害者に対する支援
事業	①相談の実施
	②女性相談の実施(再掲)
	③緊急一時保護の実施(再掲)
担当課	教育支援課・協働コミュニティ課

施策全体についての評価

一人では抱え込まずとりあえず相談することで、問題が深刻化するのを防ぎ、早期解決に繋げることができる。そのためには、相談窓口の周知とともに、「相談」のハードルを下げる工夫も必要と思われる。まずは自分の置かれている状況を認識するために、初回はSNSを使ってアクセスするという方法も考えられるのではないかな。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	A			

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
教育支援課	①	コロナ禍で社会や生活様式が変化した中でも、関係機関と連携し、支援体制を整えられていたことを評価する。今後さらに課題に取り組むことで、相談者が必要としている支援を迅速に届けられるような支援体制が作られることを期待する。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			A	A			
課題把握							
A	A						
協働コミュニティ課	②③	コロナ禍に柔軟に対応して、初回からの電話相談を取り入れたことを評価する。情報誌パリティ等で女性相談の周知をしているが、相談した後の見通し(特に緊急一時保護を希望した場合)の情報も知らせてあると、より相談がしやすくなるのではないだろうか。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			A	A			
課題把握							
A	A						

西東京市男女平等参画推進委員会評価

基本目標Ⅰ	人権の尊重
課題Ⅰ-5	性と生殖に関する健康支援
施策(1)	からだと性に関する正確な情報の提供
事業	①発達に応じた性教育の実施
	②性と生殖に関する健康支援情報の提供
担当課	協働コミュニティ課・健康課・教育指導課

施策全体についての評価

からだと性に関する情報(常識)は、世代間でも大きなギャップがある。リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念を社会で共有できるような取り組みを進めていただきたい。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	B	B			

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②	講座の開催や書籍の紹介を通して、性の多様性についての啓発活動を進めたことを評価する。市民に現状と課題を伝えることは非常に重要であるので、パリテやHPでの掲載や掲示にとどめず、当事者の声をもっと多くの市民の目にとまるような工夫をしていただきたい。	総合評価				
			B	B			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			B	B			
			課題把握				
健康課	①②	母性に関わる事業を、リプロダクティブ・ヘルス/ライツについての正しい知識を提供する機会として活用したことを評価する。性と生殖に関する問題は、非常に個性性は高いが、避けては通れない大切な問題である。各課連携し、親子やパートナー間で真面目に話し合えるような環境作りに努めていただきたい。	総合評価				
			B	B			
			計画内容				
			B	A			
			執行状況				
			B	B			
			課題把握				
教育指導課	①	性に関する情報が溢れている現代社会にあっては、「性教育の手引き」による授業だけでは、思春期を迎えた子供達の心と身体の健康を守ることはできないと考える。情報提供と発信の仕方に工夫は必要だが、肝心な問題を家庭できちんと話し合える環境を作るためにも、幼い頃から継続して親子で性教育の授業を受けるといった取り組みはいかがか。	総合評価				
			B	B			
			計画内容				
			B	B			
			執行状況				
			B	B			
			課題把握				
			B	B			

西東京市男女平等参画推進委員会評価

基本目標 1	人権の尊重
課題 1-5	性と生殖に関する健康支援
施策 (2)	性差に応じた健康支援
事業	①女性専門外来に関する情報提供
	②女性・男性特有の病気に対する予防と検査の実施
担当課	協働コミュニティ課・健康課

施策全体についての評価

必要に応じて専門外来受診に繋がられていることを評価する。性的マイノリティにとっても必要とする情報の提供や医療機関への紹介がなされているか、検証されたい。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	A			

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①	継続して事業を実施されたい。 女性特有の体調不良に苦しんでいる人は、若年層にも多数存在する。中学・高校生に対しても医療機関に関する情報が周知されるよう期待する。	総合評価				
			A	A			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			A	A			
健康課	①②	継続して事業を実施されたい。 健康課事業や健康相談等で得た市民の声を情報集約の際の視点に加えることで、より有益な情報提供に繋げることができると思われる。	総合評価				
			B	B			
			計画内容				
			A	A			
			執行状況				
			B	B			
課題把握							
A	A						